

国民年金保険料 学生納付特例 申請書類セルフチェックシート(申請者用)

よくある間違い・不備事項のセルフチェック

※内容に不備がある場合は、書類の再提出を求められる場合があります。提出の前にもう一度確認してください。

学生納付特例申請書		注意事項	チェック欄
	【注意事項】は読みましたか。	○【注意事項】は大切なことが書いてあります。必ずお読みください。	
提出 年 月 日 所 在 地 氏 名 欄	「提出年月日・住所・被保険者氏名」欄は記入されていますか。	○提出年月日、住所および被保険者氏名の記入漏れ、誤りがないか確認してください。	
		○住民票の住所を記入しているか確認してください。	
A ・ 基 本 情 報 欄	「①個人番号(または基礎年金番号)」、「②生年月日」、「③氏名」および「④電話番号」の各欄は記入されていますか。	○個人番号または基礎年金番号、生年月日、氏名・フリガナおよび電話種別・電話番号に記入漏れ、誤りがないか確認してください。	
B ・ 申 請 内 容 欄	学生納付特例を受けようとする期間が「⑤申請期間」欄に記入されていますか。	○学生納付特例の申請を希望する年度を超えない範囲で記入しているか確認してください。 【記入例】令和6年4月から令和7年3月まで (※年度単位での申請となるため、複数の年度分を申請する場合は、年度ごとに申請書を提出してください)	
	「⑥在学予定期間」欄は記入されていますか。	○入学年月から卒業予定年月を記入しているか確認してください。	
	「⑦学校の名称」欄は記入されていますか。	○学校の名称に記入漏れ、誤りがないか確認してください。	
	「⑧学校の所在地」欄は記入されていますか。	○都道府県名・市区町村名まで記入しているか確認してください。	
	「⑨学生の区分」欄は記入されていますか。	○学生の区分について、該当する選択肢を「○」で囲んでいるか確認してください。	
	「⑩学生証の有効期限」欄は記入されていますか。	○学生証の有効期限を記入しているか確認してください。 (※学生証に有効期限の記載がない場合は記入不要です。)	
	申請する年度に対応する前年所得について、「⑪前年所得」欄の該当する選択肢を「○」で囲んでいますか。	○申請する年度に対応する前年所得について、該当する選択肢を「○」で囲んでいるか確認してください。	
		○「3. あり(128万超)」を「○」で囲んだ場合、16歳以上19歳未満の扶養親族【あり(人)・なし】についても「○」で囲んでいるか確認してください。	
	失業・倒産・事業の廃止などを理由として申請される場合、「⑫特例認定区分」は記入されていますか。また、その事由が確認できる書類を添付していますか。もしくは、その事由が確認できる書類を過去に提出したことがありますか。	○「1. 失業」欄を「○」で囲み、「該当年月日」欄の記入および失業前の「雇用保険加入(あり・なし)」欄を「○」で囲んでいるか確認してください。	
		○「⑫特例認定区分」欄に記入した失業などに関する証明書類を過去に提出したことがある場合は、あらためて添付する必要はありません。 「⑬備考」欄にその旨を記入してください。	
次の事由に該当する場合、「⑬備考」欄にその内容が記入されていますか。 (1)学生納付特例の申請を希望する期間中に海外転出入があった場合 (2)学生納付特例の申請を希望する年度の1月1日時点で海外に居住していた場合 (3)学生納付特例の申請を希望する年度中の一部の期間(失業後の期間など)に限り申請する場合 (4)失業などの理由により学生納付特例を申請する場合で「⑫特例認定区分」欄に記入した失業などに関する証明書類を過去に提出したことがある場合	○雇用保険の被保険者であった方は、雇用保険受給資格者証、雇用保険受給資格通知または雇用保険被保険者離職票などのコピーを添付しているか確認してください。		
	○(1)の場合、国名と転出入日が記入されているか確認してください。		
	○(2)の場合、国名及び転入日が記入されているか確認してください。 (例)令和6年4月から令和7年3月までのいずれかの期間の申請の場合は、令和6年1月1日時点について記入してください。		
	○(3)の場合、その事由が発生した月の前月分から審査を行います。 「⑫特例認定区分」にその事由・該当年月日を記入しているか確認してください。		
	○(4)の場合、「失業などに関する証明書類提出済」と記入しているか確認してください。 「⑫特例認定区分」にその事由・該当年月日を記入しているか確認してください。		

※このセルフチェックシートは提出する必要はありません。